

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Gray Scale



Kodak
LICENSED PRODUCT

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



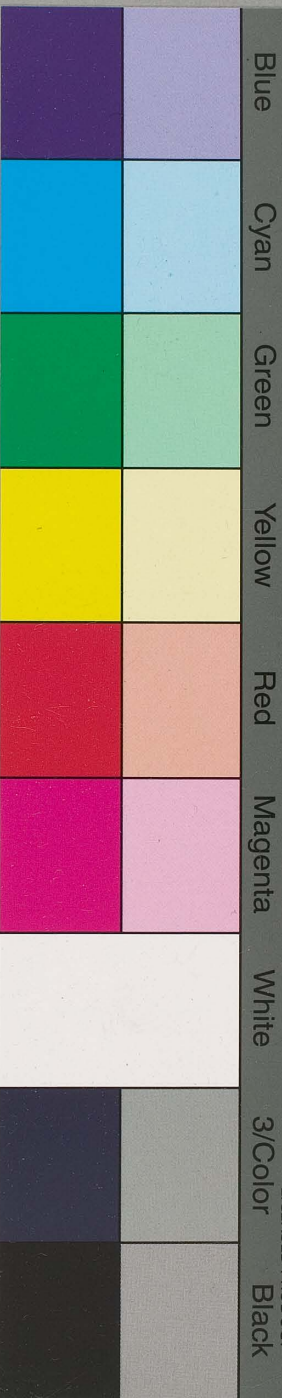
Inches 1 2 3 4 5 6 7 8

Centimetres 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak
LICENSED PRODUCT





文
三
刊
百
心
道
載
終
解

貴重書

911.108
Ky

武庫川女子大学	9/1.108
昭和49年 7月14日	K4
247271	

武庫川
院蔵書印

黄金の貴子、黒鏡の以やき。俣子世
 端ふ海子にあらば、はるるの鏡器よと茂る。
 其用をおきた玉了の黒が柄の亦めん傍り
 のへは。僕志此を切き老のおお。静かにも
 半ぬを記款。あらば、田家高きおれ
 百首と標け。梓小鏡、てせ。さか
 へわらう。其ま。小倉百首、い
 中、貴子の志。中、黒鏡のふ甲。

武庫川女子大学
 院蔵書印

毛むしに力きつて保ちし能く報用する所なきを
 止りし。正引及字作なるに銅鉄も
 成ぬる曲る人の心は違ひ持てぬる
 利なき形も悲し。これ安時の田に
 の産の財の子どればたは似ほふ。記
 脱ものなるべし。

文金ある事
 松岳の玄阿

夙興夜寝丹思忠孝者
 人不知天心知



文川百人

木從繩

正

君從諫

別重

兼中他定房

一籠ふ人とも

解却と珍るう那

うらまゝの
士重とよま



遷善當必風を速
改過者如雷之烈

のひかりや六

さのふは過飯

かひのーヤとそ

あゝとあぬふ

茶田大信實隆



在^{あつち}原^の業^の家^の初^めは

世^よ常^にふ^かく^ぬの

た^らも^の世^に

あ^ぢ代^のり^の世^に

人^のの^まは

哀^{あは}れ^の父^の母^の生^かれ^の義^の助^の弟^の

欲^ほ報^はく^徳具^の天^の同^の極^の



流^{なが}聲^の痛^い症^の家^の

豪^{たか}富^の智^の慧^の

聰^と明^の却^の

受^う

責^せ

馬^{うま}九^の光^の廣^の卿^の

よ^の中^のハ^の新^のテ^の登^のる^の色^の

徳^のの^まは^の印^のざ^ら

の^のま^のは^のち^の



雲居和尚

孫儒佛

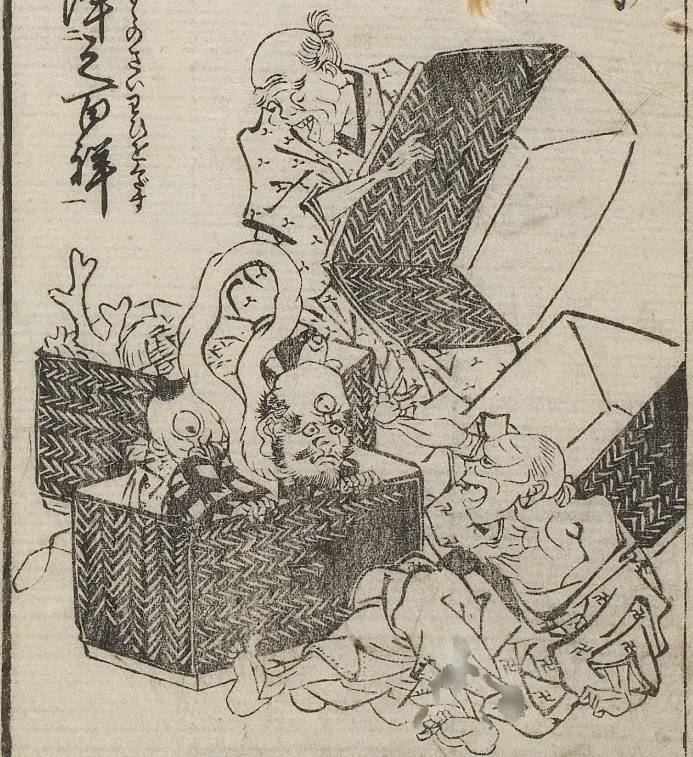
三教の心

ありん

龍巻

魚報

他若天降之百祥



世上功名者

木石

善定

國師

るるるるるる

るるるるるる

野の河

るるるるるる

浮心せもあれ



知命者不怨天
知己者不怨人

元之大師

夢野ハセオ

知命者不怨天
知己者不怨人
何事ぞ



杜堂

和尚

八百の塵垢

とくみふ

あつては

穢しつるふ

叶はざりたり

巧偽不如杜穢



武田信玄

人斬

今石

今石

今石

情ハ味カ

飛ハ敵

チリ



関羽

黄忠

忍之一字在妙之门

忍事敵兵星

小浜橋例

錦も縁も

わ

樹

竹

見



一粥一飯當思來處不易
イハレイカ子イハレ

大之條湖經耐

三之條林業

あや

おや

あや

あや



打えをもんまうをれ

ふ極

の

の

の

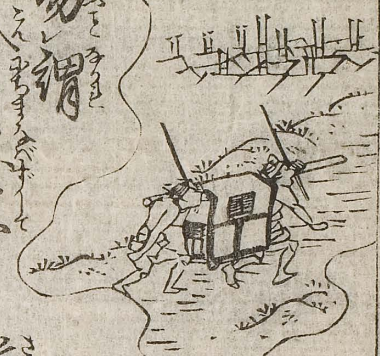


貞節白頭

失守半生

清

俱



勿謂

今日不學

有來日

前考後

後憲

聖日わやしと云ふふ身は

久もそり〜



竹取大伴

素の母ふりおるきさりの

繪

丁

かりん

鬼神無常孝

孝二千

克

負金兩

奉迎新引



教訓

良田万頃日食二升
大家之間夜外八尺

あまふ

あまふ

あまふ

あまふ

宗徳法師



朝有紅顔袴世は
暮為白骨朽草

親鸞上人

ゆりうらなほの
あまふ

あまふ

あまふ

あまふ



膏梁の食を憐む

酒ひくえ色なきを乞ふ

富ひぬる

徳平及之

婢妾嬌也

困窮之福



陽氣甚盛金石亦透
精神一到何事不成

志薄

多しは事あり

子母の事もるる

牛比の事もる

よ〜



文川百八



慈 和 尚
誰も 家 我 分 分
つみ ぢ ぢ ぢ
勿 家 江 腹 面 恣
教 生 靈



家門和順難獲
不継亦有餘歡
樂々々々々の極不
秋の月まゆ中々
羨々々々
却良縁

素高貴ひんせんふきの輝あかり

高貴たかき

素高ひんせんの輝あかり

手負てんせの輝あかり

小野おのの輝あかり

手樹たての輝あかりの風かぜ

手ての輝あかりの風かぜ
ゆゑにわらわらる



賣茶ばいさの酒さけ

備前べんぜんの古ふる教しやく

あつらひ

柳やなぎ子この輝あかり

あつらひの輝あかり

あつらひの輝あかり

陳平ちんぺいの輝あかり

以見もつとの輝あかり



最月寺
時頼

角のむら

ゆのうら

むづりや

ゆらゆら

まのりき

事能常無
待安



隆寛禪師

あづつり

ひらあは

人公

おまのま

まのま

あまふ

徳師

定大丈



録余右大臣

明子成六あが

羽風ふさゆ

年と澄ぐむ

利欲威造
即是大坑



權僧正を考

津の國に

程政のとも

作ら後の世

人眼者

隠而勿

把用





後京極
 抄政
 世帯
 虎
 人の目
 口足
 是割
 刀



西
 年
 怒
 法
 中
 寄
 海
 舟

八正維道廣
十惡不入性

極樂有方

人正事方

曲事方若く

性空上人



慈心院一人
功德大深

系光大師

仲乃
折合あけ

弥陀の浄土

金屋

施



慾多傷身
財多累心

吉川惟足

山崎の飽き

禁来らうらうら

うらうらあ

若もをん



世人結交用黄金

上田秋成

交交黄金

法ぶ

人化

ふひの

つらなる





こころ
とぢりもち

忍びも
只座ちを
夜のみ

妙法寺
お如上人



久
げん
作

かざり

深山

杉

あふ

長州百人





空也上人

松樂
遠
初
子
子
子
子

勤馬長價突

東川



橋千彦

五弟の
佛不向ひて

念猪の
うまアセぬ
うま

三尺精光新出
氣塵千軍

東川



千太郎のついでに
 蟻塚の元
 両潰
 米田
 勝家
 小幡の弱き節を
 中へ正る様を
 加ふ事と云はる

晋子其角



有志者其事
 成

晋子其角
 秘言を
 好の
 上へ正る様を
 加ふ事と云はる

大正

おぢやうやう
主任法所

我が身
任

新
毛

叶
人

ふ
倉



大正元就

秋の田
れ

年
方

中
も





孝行の心家
 天もあまを
 海もあまを
 孝行の心
 大蛇
 人



有陰德者必御食其樂
 此乃子孫
 栄盛の
 人の元
 とうりん
 粉
 橋
 技
 直



室直清
 皆人のりとのたす鏡
 座のたす鏡
 座のりとのたす鏡



天道虧盈而益謙
 海はた
 月のか
 舟の
 舟の
 舟の

兼論

名ひし水かひの
おのろも
おのろも
おのろも
おのろも

伊
仁



自天子以是於庶人
壹是皆以循身爲本



貧而樂道

富のをも
貧のをも
富のをも
貧のをも



後鳥羽院
 親王の光と成やせ
 親王の光と成やせ
 親王の光と成やせ
 親王の光と成やせ

文會堂と著園直馬

教訓御代の恩

一 大輪初義父母孝順の章
 一 子孫の徳を著し孝順の徳を著し
 一 孝順の徳を著し孝順の徳を著し

教訓父母の恩

一 父母の恩の徳を著し孝順の徳を著し
 一 孝順の徳を著し孝順の徳を著し
 一 孝順の徳を著し孝順の徳を著し

教訓百有戲繪解

一 孝順の徳を著し孝順の徳を著し
 一 孝順の徳を著し孝順の徳を著し
 一 孝順の徳を著し孝順の徳を著し

心算あるえ草

一本
 一 孝順の徳を著し孝順の徳を著し
 一 孝順の徳を著し孝順の徳を著し

に在る林

山田伏見

WUJI

